

國際労働會議に關する諸問題

國際 部

國際労働會議は、國際労働會議と其の本質を同じゆうするものであつて、同
 議会は、國際労働會議から離れんとする労働階級を喰ひ止めるための機動的企
 圖に思ひ入り、從而斯る機動的労働階級を参加することは、寧ろ有害であつ
 て何等利益を寄すものではない。然るに斯る機動的に國內の重なる労働団体の代表
 者が参加してゐるやうなやつて、例へば一時的にもせよ、同協会の組織に惹いて野
 田委員長が個人としてその参加を認められたのは、常任委員会の誤りである。この誤
 りに對し、関東地方評議會より提言を呈し、實則並意見書に對し、第十四條十一
 四常任委員会並に第三回中央委員会は充分討議の結果、関東地方評議會の意見
 を正確と認め、斯る又重階級の機動的策に對して、寧ろ積極的にハイコットして
 眞の階級的性質を大衆に暴露すべきであるとした。而して野田委員長もまた、
 此の誤り、先、全協会公、重階級に採つて何等利用の値なきものなるを脱退さ
 せられた。

吾らにこの問題に對して、故國討議して行く内に、國際労働會議の利用術
 並にその利用方法に及ぶこと、なり、第三回中央委員会は、大衆團會議に對
 する代表選出には反對すべしとの意見になつたが、創立大会に於ては、代表選
 出に反對してゐないのであり、且つこの問題は、國內の他労働団体との協同
 關係にも影響あるを以て、更に各組合に於て充分討議して貰ふこと、し、討議
 參考資料を複製配布した。而して、第一回擴大中央委員会は、更に本問題
 に就て充分なる討議を爲し、結果、國際労働會議の本質に對しては、既に評議會
 創立大会に於て、明白に言はれてゐるが、其の利用價值に至つては、大いに異り、
 且つ誤じてゐる。併し、吾らに國際労働會議に對する我國労働団体の意見は、本
 一致してゐない。殊に國際労働會議代表選出の問題に至つては、更に故國全勞
 働階級の意向によつて選出されるに非ずして、比較的多數の投票権を有する
 二三団体の専斷的暗々裡の協議によつて決定せられ、全労働者の公正なる代表
 選出を蹂躪して惡劣と同時に、代表亦會議に臨むに當り、議題其他につき、
 何年一般労働大衆の意向を問ひ且つ明瞭なことをなかつた。

吾々は斯る状態は決して國際労働會議を利用する眞の方法に非ずとなし、國
 際労働會議に對する國內労働団体の變更を統一し、連合を共同機關形成の機會を
 造るために左の方針を以て、第八回國際労働會議代表選舉に参加すべきことを
 決議した。

一 公正なる選舉方法に依り、最も適當なる人物を代表者に選出すること。